


## 1 研究主題 「学び合う授業の創造」

～学ぶ意欲を高め、確かな学力を身に付ける子供の育成を目指して～

## 2 研究の概要

実施日時	事業	内 容	備 考
4月24日(木) 15:30～	春季総会	○H25年度 活動報告 ○H26年度 活動計画の承認	中之島文化センター
9月30日(火) 10:20～	全体研修会 ①	○授業公開(川崎小学校)  ○協議会及び講演会 演題:「小学校外国語の成果と課題、 そしてこれからの外国語活動」  講師:文部科学省教科調査官 直山 木綿子 様	川崎小学校 長岡市教育センター 

※ 長岡市の「熱中!感動!夢づくり教育事業」……  
キッズ・イングリッシュ・アカデミー(小学校)の支援と補助

## 3 研究の実際

※ 全体研修会① 9月30日 <授業公開、協議会、講演会 >  
(長岡市教育センターの外国語講座とタイアップして1日講座として実施)

文部科学省より直山木綿子教科調査官を招き、外国語活動の一日講座を開催しました。午前の川崎小学校での授業公開、午後の協議会と講演会に100名を超す受講者が熱心に参加しました。

川崎小学校では、担任とJTLのTT学習による、5年生の外国語活動、活動名「おススメの長岡野菜を説明しよう」の授業を公開しました。総合学習の内容と外国語活動の内容を重ね合わせることで、児童自らが「話したい、聞きたい」という気持ちを高める工夫がなされていました。また、表現ポイントとして、「アイコンタクト」「クリアボイス」「ジェスチャー」「気持ち、意欲」などの観点からのグループの相互評価活動を行う場面もありました。

授業協議会では、授業内容について、小学校、中学校、それぞれの立場から活発な意見交換がなされました。出された意見をもとに、直山調査官からは、「伝えたい気持ちが生まれれば、アイコンタクトは自然とできる」「活動は適切だが、英語の会話量をもっと増やすように」「各先生方から質の高い意見が交わされたよい協議会であった」などの指導・講評がありました。

「小学校外国語の成果と課題、そしてこれからの外国語活動」と題した講演会では、次のことが話されました。「これまでの小学校における外国語活動への取組は高く評価できます。小学校先生方は自信を持ってください。」「今後、グローバル化が急速に進む中で、今の子供が大人になった時に「求められる力」を育てることが私たちの責務であり、そのためのカリキュラムがこれからは求められています。」「小中連携のカギは、中学校が握っています。」などの力強いエールをいただき、熱い思いを感じた一日でした。

## 4 成果と課題

長岡市三島郡英語研究部会は、小中一緒の部会であり、会員数も多い。小学校の外国語活動が本格化していく中、本年度は、小学校会員もより多くなった。外国語活動の充実と小中の連携を今後も図っていく。